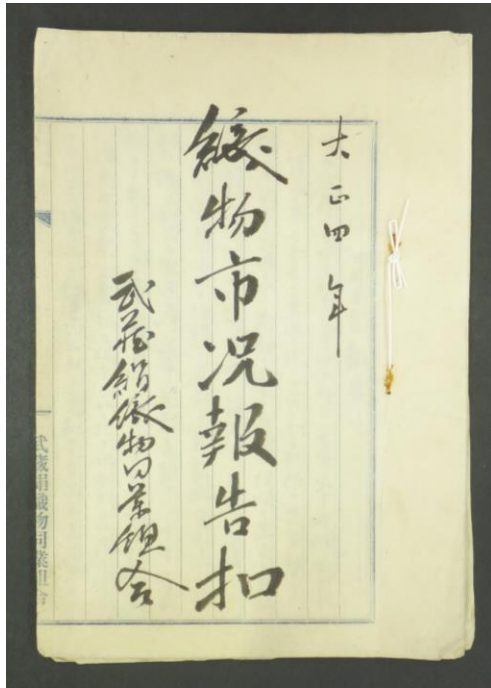
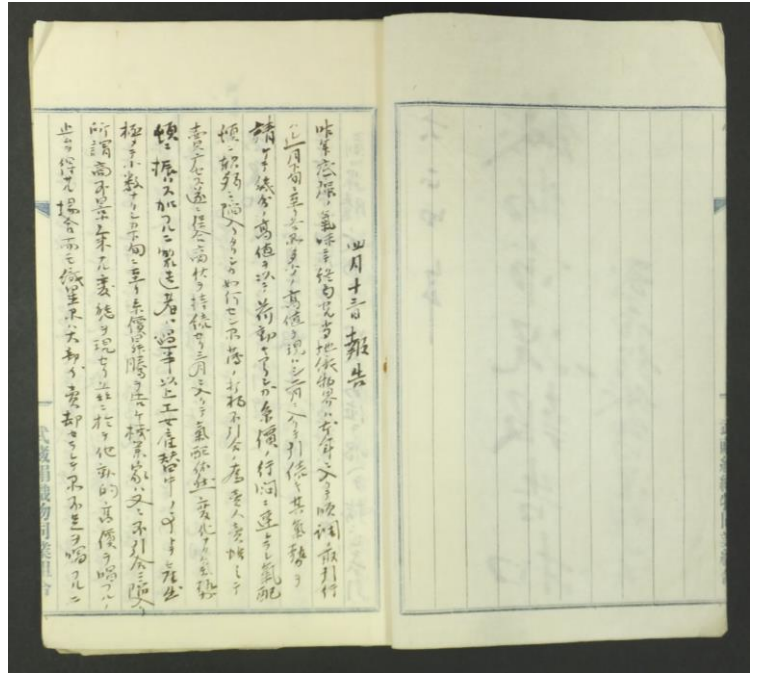


大正四年 織物市況報告控



(飯能織物協同組合No.152)



これは、武蔵絹織物同業組合が作成したものです。同組合は明治 42(1909)年に武蔵織物同業組合の絹布派によって設立されました。報告書には、市の状況が市日ごとにほぼ毎回記載されています。これを見ると、大正4(1915)年の取引は1月から2月頃まで順調に行われていたものの、3月に入ると氣勢が振るわなくなっていた様子が見て取れます。特に3月は工女雇替中により産出量が極めて少なかったため、糸価が昇騰して前月比2割高であったと記されています。4月に入ってから急激な暴騰は続きましたが、月末にはその反動で捗々しい取引が見られなかったようです。5月には農繁期に入ったため出品数はまたしても極めて少なくなり、且つこの時は客数も少なかった旨が報告されています。その後、客数が少ない状態は、少なくとも8月頃まで続きました。